



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

「掃除と日本人」

福久教頭

最近の生徒は掃除が下手でいい加減になつてると聞きます。確かに、学年が下がるとなると、そういう傾向が強いようです。掃除なんかどうでも良いじゃないかと思つているのかも知れません。

幸田文の文章に、父の幸田露伴が娘である作者に、掃除の仕方を教える場面があります。雑巾の絞り方から拭き方、はたきのかけ方など、実に細かく、しかも理屈が通つていてわかりやすく、さわやかで厳しく美しい。掃除も技術であり、文化であり、もつという生き方であると分かります。

また、「司馬遼太郎が「この国のかたち」で「古神道」というのは、真水のようにすっきりとして平明である。教義などはなくただその一角を清らかにしておけば、すでにそこに神がおわす。」と述べています。また日本の古語には「たぐさの美を表す言葉がありすが、中でも「きよらなり」は最高の美を表します。日本人は昔から清らかである事を大変尊重し、それを生き方の基準にしてきました。

しかし最近の若者の汚な系のファッションや、地ベタリアン、ゴミの投げ捨てなど、どうでしょうか。同じ地球上に住んではいても、その感性において異星人かなにかのようにすら感じます。

ところでこの清らかであることに高い価値を置く精神文化は、近代日本にも様々な影響を与えました。例えば日本の「職人」は、作るものの見えない裏側にも、決して手を抜きません。ほめられるわけでも儲かるわけでもないのに、ものを作るという点において「清らか」であるわけです。雑念がない。日本製品の品質の高さはそのよきな心に支えられ、結果として世界に對し

て築かれた信用が、日本を繁栄に導いたのです。

どうですか。掃除をきちんとすることとはどうでも良いことではないでしょうか。掃除をするふりをしておしやべりをしている君、だから平気で遅れてきて、一所懸命している人にすまないとも思わない君、君は今大事なものを失おうとしているのですよ。

学年PTA

十月十八日(火)、実力調査一日目の午後、一・二年の学年PTAが開催されました。

まず、全体会では、環境浄化研究所代表の須郷高信先生をお招きして、「暮らしに役立つ放射線」と題しての御講演をいただきました。約八十分という限られた時間でしたが、科学と生活の接点を、具体的にそしてユーモアを交えて話して頂き、会場は時折笑いとともに驚きの声も聞かれて、充実した講演会となりました。

講演会の後、一学年は文理選択と教科・科目の選択、二学年は大学入試に向けての学習のあり方を中心に、学級PTAが行われました。

新生後期生徒会!

十月二十七日に平成十七年度後期生徒会長選挙が行われ、二・Rの山口貴広君が当選し、後期生徒会執行部が発足しました。山口君は「私は去年のこの時期に生徒会役員として鶴丸高校をリードしていかなくてはならない立場にな

りました。今回この執行部で私がしたいことは、過去にはない「色」を出すことです。百十一年という歴史、受け継がれてきた伝統。そこには継承すべき伝統と、私たちの色に染められて、新たにその力を発揮する伝統があるはず。決して伝統を踏襲するだけにとどまらない、私たちの「色」を加えられた行動をしていきたいと思つています。

第五十三回ロードレース大会



十一月十日(木)くもりの予報通り、最高のレース日和の中、第五十三回校内ロードレース大会が、桜島総合体育館及び浴岩道路ランニングコースで実施されました。

大会に備えて前日までに約一か月間は体育の授業の中で学校の外周道路(七百七十七m)を使用して長距離走の練習が行われ、男子は三、四km、女子は二、三kmと距離を伸ばしながら持久力・忍耐力を養ってきました。

長距離走では「死点」と呼ばれる心身共に苦しい状態を体験するところがあり、この体験はランナーの意志力、体力、そして人間性を一段と高めてくれる試練の場となります。

本番レースへ向けて生徒職員共に充分な準備のもとで大会が実施されました。そして、一・二学年計六一五名参加のうち、六一二名が見事完走しました。また、最後尾から必死にゴールを目指す生徒を励まし伴走する級友や先生の姿やゴールで最後まで温かい声援を送るといった感動的な場面もあり、本日に素晴らしいロードレース大会となりました。

三年生を激励する会



十月二十日、県文化センターで三年生を激励する会が開催されました。部活動や学校行事などあらゆる面で自分たちを導いてくれた三年生に、一・二学年が芸術鑑賞会という形で感謝と激励の気持ちを示しました。

昨年度の演劇に続き今年度は音楽鑑賞となっており、生徒アンケートの結果等を参考にオペラ・カルメン、ハイライト版が上演されました。主要な場面に絞られたテンポの良い展開に、皆時間を忘れて見入っていたようです。また、後半はヴォーカル・コンサートの形式となり、こちらは一転して楽しい演出に肩の力を抜いて音楽を楽しむことができました。

鑑賞の後は一・二学年から三年生へのメッセージが書かれた三激カートの贈呈と、それに応えての三年生の決意表明があり、最後は一・二学年による「YELLOW」エール」の合唱で会の幕は閉じられました。「春には大きな君が花になれ」...先輩達に向けられた後輩達の「YELLOW」がまた新たな力を与えたことでしょうか。

12月の行事予定

Calendar table with columns for date, event name, and duration. Includes events like graduation exams, school safety days, and sports events.

冬期悠学講座